

平成30年度子どもゆめ基金助成金申請書

平成 29 年 11 月 4 日

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長 殿

郵便番号: 〒154-0001
住所: 東京都〇〇区△△4-1
ふりがな: さいえんす・れいんぼー
団体名: サイエンス・レインボー
代表者役職: 代表
ふりがな: めぐる ゆきこ
氏名: 目黒 幸子

目黒 (記名押印又は署名)

下記の活動を行いたいので、子どもゆめ基金助成金交付要綱第4条の規定に基づき、助成金申請書を提出します。

Application form grid with fields for activity name (科学フェスティバル2018), amount (190,000円), activity details, dates, location, and recruitment information.

Contact information table with columns for name, age, address, business address, and contact details for three individuals.

注1. 団体の役員及び事務局職員等のうち、申請書の内容及び経費について責任を持って対応できる方を必ず3名記入してください。
注2. 記載された個人情報は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用しません。

	団体名 サイエンス・レインボー
ふりがな	かがくふえすていばる 2018
活動名	科学フェスティバル 2018

この活動を計画した目的やねらい(200字程度を厳守すること)

理科への興味・関心を高めることを目的に行うブース出展型のイベントである。来場者の小・中学生に近い年齢の高校生が実験を教えることで、参加者にとっては親しみを持つことができると共に、高校生にとっても教えるために学ぶ・学んだことを教えるという教育的効果を期待できる。実際に実験を教える場を通して、各高校生間の交流もできる。

活動の目的やねらいを達成するために必要な具体的なプログラム名とプログラム内容を対応させること	活動名と主なポイント(箇条書きで2つ以上)
<具体的なプログラム名>	<主なポイント>
ペットボトルロケットを作って飛ばそう	<ul style="list-style-type: none"> 科学工作を通して参加者にロケットの飛行原理を学んでもらう。 ロケットをよく飛ばすためにどのような手順でどのように工夫をすべきか、工学的プロセススキルを学んでもらう。
鉄粉カイロを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 科学工作を通して参加者に酸化還元反応について学ぶ。 日常生活の中でどのような製品が酸化還元反応を使っているか、考えてもらう。

月	日	曜日	時間	プログラム内容(開始時間と終了時間をいれること)
9	16	日		※高校生は、担当指導者の管理監督の下、各実験・工作ブースを出展する。 ※外部講師も各実験・工作ブースを出展する。 9:00 スタッフ集合・準備 9:30~10:30 高校生交流タイム 10:30~15:00 体験活動(出展 20 ブース)開始・一般開放 16:00 片付け解散 10:30~15:00 体験活動(出展 20 ブース)内容 ・ <u>ペットボトルロケットを作って飛ばそう</u> ・空き缶つぶし ・雨粒を見てみよう ・ <u>鉄粉カイロを作ろう</u> ・空気砲 ・いくらを作ろう ・手作りゴムボール ・低融点合金 ・アルカリアルミ電池 ・手作り分光器 ・スライムを作ろう ・濾過器を作ろう ・左右反射鏡 ・牛乳でプラスチックを作ろう ・ふわふわ電気くらげ ・簡易ギノス ・変更の不思議 ・ホバークラフトに乗ろう ・さかさまスコープ ・星座図鑑作り (ブースは変更の可能性があります)
指導者名			【小中学校理科教員 10 名】 ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ 【団体構成員 10 名】 目黒幸子 品川和男 大田順一 ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■	
当日活動に携わる指導者等の人数(実人数)			指導者 10 名	協力者 10 名
			(うち、団体構成員の人数 10 名)	

参加者の安全対策健康管理	傷害保険への加入(口内に○を記入)	<input type="radio"/> する	<input type="checkbox"/> しない(理由:)
	安全対策: 実験での薬品・器具の取り扱いには、十分注意する。救急キットを準備する。	健康管理: 来場者に飲食させる実験は行わない。換気を十分に行う。	

		団 体 名	サイエンス・レインボー		
		活 動 名	科学フェスティバル2018		
		区 分	金 額(円)	積 算 内 訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)	
支出の部	助成対象経費 A	謝金	100,000	指導者 10,000円×10名 = 100,000 円 = 円 = 円	
		旅費	-	= 円 = 円	
		雑役務費	-	= 円 = 円	
		その他の経費	印刷製本費	30,000	チラシ印刷費 6円×5,000部 = 30,000 円 = 円
			通信運搬費	-	= 円 = 円
			借料損料	-	= 円 = 円
			消耗品費	60,000	実験材料費 3,000円×20ブース = 60,000 円 ※内訳別紙記載 = 円
	活動報告書に係る経費 ※2万円を超えないこと	-	= 円 = 円		
	小 計 A		190,000		
	助成対象外経費 B		19,000	保険料(参加者・無償ボランティアを含む) = 15,000 円 保険料(指導者・協力者) 200円×20名 = 4,000 円 = 円 = 円	
団体の自己資金でまかなう経費 C			← 自己資金 を充当すること (積算内訳の記入は不要です)		
支出の総額 (A+B+C)		209,000	※ 収入の総額 と一致させること		
収入の部	子どもゆめ基金助成金交付申請額		190,000	← 小計 A の千円未満を切り捨てる かつ、30万円を超えないこと	
	参加費収入		-	= 円 = 円	
	補助金・寄附金等				
	自己資金		19,000	← C ≤ 自己資金 となること	
収入の総額 (=支出の総額)		209,000	※ 支出の総額 と一致させること		